

伊藤病院だより
SUMMER

Voice

2014年6月1日発行 第46号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



根津美術館のかきつばた

当院は被災地支援に積極的に参加しております

当院は渋谷区の災害時の拠点病院になっており、日頃から災害発生時に備えて取り組みをすすめております。東日本大震災の発災時は、災害支援ナースとして登録していた看護師2名と医師1名を被災地に派遣、続いて専門病院として様々な情報発信や被災地の検査技師の研修受入などの取り組みを継続し、厚生労働大臣より感謝状をいただきました。現在では災害支援ナースも13名となり、災害時マニュアルの作成やワーキンググループの立ち上げなど、災害発生時への備えを強化しています。

この度、実際に被災地で支援活動に参加した三沢看護師が、災害支援ナースについてご紹介いたします。

◆災害支援ナースについて

伊藤病院 看護部・災害ワーキンググループ 三沢恵理子

1995年に発生した阪神・淡路大震災をきっかけに、日本看護協会に「災害支援ナース」という制度ができました。大規模災害が発生した際、被災県看護協会の要請により、都道府県看護協会と日本看護協会が派遣調整したうえで、被災地に災害支援ナースを派遣するというシステムです。災害支援ナースになるためには、「災害看護」の研修を受講し、災害支援ナースに登録されなければなりません。災害支援ナースの役割は「被災者が健康レベルを維持できるように適切な医療・看護を提供する」「被災者の心身の負担を軽減し支えるよう努める」ことです。

2010年10月に私と湯澤看護師が平塚看護部長推薦のもと、東京都看護協会の研修を経て、災害支援ナースとなりました。「災害支援ナースの研修に行ってみない？」と看護部長に声をかけられた時は「新しい分野の勉強になるからやってみようかな。災害なんてそう起こるものでもないし。」と思ったことを覚えています。

2011年3月11日、東日本大震災が発災し、東北地方を中心とした大規模災害となりました。

連日テレビで被災状況がテレビ中継されるのを見て、「もしかしたら災害支援ナースとして、派遣されるかもしれない。」という思いがよぎったのと時を同じくして、東京都看護協会から災害支援ナースの派遣要請がありました。伊藤病院の勤務を調

整していただき、湯澤看護師が発災後3月21日から4日間宮城県山元町へ、私は発災後約1ヶ月後となる4月4～7日の4日間宮城県石巻市の避難所に派遣されました。

その活動を経て、2011年5月より伊藤病院看護部災害ワーキンググループが立ち上がりました。発災時看護部としてどのように看護活動を行っていくか、当院の災害時の病院設備や備品の状況を把握するためマニュアルの整備や、大規模災害が起こった際トリアージを当院でも行わなければならない状況を仮定し、トリアージ勉強会を主催したり精力的に活動しております。

2011年度は2名の災害支援ナースの登録でしたが、現在伊藤病院では13名となり、災害看護の知識を持った看護師が増えとても心強い体制となりました。都会の中心にあり、また外来患者様も多い当院で災害時に備え、患者様を不安にさせることなく、各スタッフが自信をもって看護活動を行えるよう、今後も活動を行っていきたくと思っています。

今後も甲状腺疾患専門病院として引き続き支援活動を行ってまいります。



医療の国際化に向けて

医療目的で海外へ行く場合や、旅行中・滞在中に医療機関にかかる場合、自分の母国語が通じるかどうか、非常に心配となる点ですね。

この度、日本をはじめ、アジアの医療機関について、対応可能な言語とともに検索出来るサイトを立ち上げた、マイケル ボブロボ氏にご執筆いただきましたので、ぜひご覧ください。

◆ヘルスケアのグローバル化—医療の国際化が一步前へ

想像してみてください。あなたは、言葉の通じない、または、読める単語はわずか1つか2つの土地に到着したばかりだとします。食べ物、たまに見かける吉野家か、今まで全く見たことのない材料で作られた寿司のようなものを除いては、見慣れないものばかりです。

ある朝起きたら熱があり、医者に見てもらわなければならないようです。身振り手振りで近所の女性とどうにかコミュニケーションを取り、地元の医者の住所を紙に書いてもらいます。タクシーに乗り込み、運転手に住所が書かれた紙切れを手渡します。運転手が回り道をし、不当な高額割増料金を請求してこない事を祈りますが、それより重大な問題は、あなたの体調が悪化していて、医者に見てもらわなければならないことです。

無事に病院に到着し、親切そうな人物に出迎えますが、その人はあなたの国の言語をわずしかか話せません。彼女から、長々とした用紙に病歴を記入するように頼まれますが、あなたはその用紙に書かれた言葉をひとつも理解できません。熱が上がるのと同じくらいのスピードであなたの不安感が強くなっていくのが分かります。

看護師は、あなたの体調が想像以上に悪く、読み書きができないため通常の受付手続きをするのは無理なことに気付き、あなたは緊急治療室へ急いで運ばれます。医師とは普通にコミュニケーションを取ることができることが分かり、あなたは安心しますが、医師の診断を完全には理解できません。なぜなら、医学用語は自国語でも理解するのが困難だからです。腕に刺された注射針は適切に消毒されているかどうか、輸液バッグの中の薬は安全なかどうか、あなたは心配でなりません。

しばらくした後、あなたの熱は下がり始めますが、完全には引きません。そこで投与された薬が、あなたより体重が平均20kg軽い人向けの量であったことが分かります。それから十分な量の薬を投与され、あなたは帰宅しようと思えますが、医療スタッフから、観察のため2日間入院する必要があると伝えられます。自国ではすぐに帰されることを知っていますが、あなたは「郷に入れば郷に従え」を実行することになります。

これは、初めて日本に来て暮らす外国人にとっては生々しい現実です。治療を受ける適切な場所を見つけ、適切なコミュニケーションを取ることはいわゆる困難なことです。しかし、ありがたいことに、状況は変わってきています。

医療施設、日本の保険、特定の治療を受けるために行くべき場所に関する情報は、外国語で入手しやすくなってきており、また増加傾向です。日本が国際的になるにつれ、日本全国の病院は、ますます多くの外国人患者を助けていきたいと思っています。言語および文化的相違の両面から地元患者および外国患者をサポートしようという強い意志を持っている多くの医療機関の模範例が伊藤病院です。

日本のヘルスケアの多くは最先端のものですが、タイ、マレーシア、シンガポールなど多くの日本人が退職後の移住先に選ぶ場所でも優れたヘルスケアを利用できます。

これらの国で旅行に行く、または、退職後に移住する予定の場合、日本語が通じ、あなたのヘルスケアニーズに役立つ最も優れた病院をインターネットで少しでも調べてみることを強くお勧めします。現在の国際化の時代において、ヘルスケアもまた世界的な現象になりつつあります。

マイケル ボブロボ(株式会社ヘルシーアイエム・代表取締役社長)

マイケル ボブロボは、ヘルシーアイエム株式会社のCEOで創立者であり、20年にわたりアジアの医療機器および製薬産業の幹部(日本シェーリング、バイエルなど)を歴任し、14年以上日本メドラッド代表取締役社長を務めました。

ヘルシーアイエム株式会社は、2013年6月に開設した革新的ポータルサイト(www.HealthyIM.com)で、日本、マレーシア、韓国、タイ、シンガポールの20万の医療施設を網羅し、海外旅行時など診断と治療に適切な場所を探すことができるよう設計されています。

◆アジア太平洋内分泌会議が開催されました

アジア太平洋内分泌会議(Asia-Pacific Endocrine Conference : APEC)は、アジア地域で内分泌疾患の研究・診療に携わっている研究者や医師がその研究成果を発表し、アジア諸国の医療の交流を図る会議です。当院はその常設事務局となっております。



第25回目となる今年は、シンガポールで3月21日～22日に開催され、多数の演題発表と特別講演が行われました。当院からは、杉野公則副院長、赤石純子医師、鈴木美穂医師が発表し、伊藤公一院長、北川巨診療技術部部长が座長を務めました。

医療の国際化に向けて

また、理事会において2014年度より伊藤公一院長がAPEC理事長を務めることが決定されました。今後も引き続きアジア諸国との学術交流を深めるべく、取り組んでまいります。

◆シンガポールでの病院見学

伊藤病院 外科 齊藤美美

去る3月21日～22日にシンガポールにて第25回APECが開催されました。本会議の前に今回の共同開催国会長でありますDr.Hongが乳腺部長を務められているKK woman's and children's hospitalの見学に行き参りました。

この病院は1858年に創設され、女性及び小児を対象とした病院であり、現シンガポール国民の約7割がこの病院で生まれているという非常に規模の大きな病院です。今回、伊藤病院からは伊藤院長、杉野副院長、

長濱外科部長、北川診療技術部部長と齊藤の5名が参加いたしました。

広大な敷地内の医療施設を見学し、Dr.Hongよりシンガポールの医療状況などをレクチャーしていただきました。シンガポールでは現在経済発展に伴い、他国からの移民が増加する一方で、国内には医師を育成する医学校は1校しか存在せず、医師不足の状況が続いているとのこと。今回の見学をきっかけに、シンガポールにおける医療発展に向けて我々が何か出来ることがあればと考えております。



伊藤病院フォーラムを開催しました

院内各部署が発表を行う伊藤病院フォーラムを3月8日に開催しました。

毎年開催しているこのフォーラムも今年で7回目となり、研究発表の場としてだけでなく、部署間の連携構築や業務意識の向上などにも役立っています。

今回最優秀演題となったのは、検査結果を出すまでの管理システムの構築や検査技能の第三者評価でもあるISO15189認証取得についての発表でした。また、アイソトープ治療におけるヨウ素制限についてのアンケート結果報告では、患者様にどのようなサポートをすべきかについて、看護部を中心に放射線検査技師、管理栄養士も加わって研究を行いました。

最優秀演題

「ISO15189認定取得への取り組み」(臨床検査室 高橋菜央子)

優秀演題

「ヨウ素制限を受ける患者様の食事の実態～甲状腺腫瘍患者へのアンケート調査を通して～」(看護部◎野口真弓・○藤田泉・駒林昌代・鈴木絹子・永田京子・放射線検査室 中西崇仁・臨床栄養室 桑原典子)「ユニフォームの管理～個人配付から共有利用へ移行して～」(○西村憲・岩田美加)



臨床検査室 高橋菜央子



事務室 西村憲



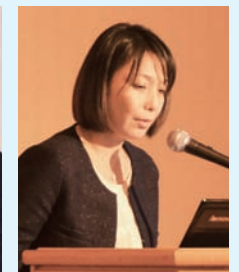
看護部 野口真弓



渡邊奈津子医師



山梨大学医学部人体病理学
准教授 近藤哲夫先生



赤石純子医師

伊藤病院研究会を開催しました

第45回伊藤病院研究会を2月8日に開催しました。

この会は、当院医師が日々の診療の重点テーマについて、1年にわたる研究成果を発表する場で、全国の甲状腺疾患診療に取り組まれている先生方をお招きして開催しています。

今年は2名の女性医師の発表となり、渡邊奈津子医師は「バセドウ病131I内用療法後のバセドウ病眼症の出現および悪化に関する前向き研究—経口低用量ステロイド薬投与による予防効果を含めて—」を発表しました。続いて、甲状腺低分化癌をテーマに、まず病理医である山梨大学医学部人体病理学准教授 近藤哲夫先生より病理診断の現状をご紹介いただき、続いて赤石純子医師が甲状腺低分化癌の診断と治療について発表いたしました。

当日は関東を中心に、東京でも20年ぶりとなる記録的な大雪でしたが、院外からも60名以上の先生方が参加され、大変熱心な質疑が行われました。

今回発表した内容について日々の診療に活かしつつ、引き続き学術研究にも励んでまいります。

病院からの おしらせ

院内改修工事について

待合スペース拡充やトイレ増設などのアメニティ向上、ならびに診察室増設など診療機能向上のため、現在、大規模な院内改修工事を進めております。

工事の進捗につきましては、Voice・ホームページ等でご案内してまいります。工事終了まで、診察室、採血室、検査室等の場所変更により、院内の案内プレートや診療案内票、およびホームページ等の記載と異なる場合がございます。

また、院内各所で作業を行うため、工事音が出たり、機材の搬入出がございますが、出来る限り患者様のご迷惑にならないよう、また診療にも支障のないように進めて参りますので、何卒ご理解下さいませよう、お願い申し上げます。

■工事概要について

- ・ 診療機能向上のため、診察室を2階に集約してフロア間の移動を少なくするとともに、診察室数を増設します。
- ・ 検査21（採血室）を1階に移動し、受付後フロアを移動する事無く血液検査を受けられるようにします。
- ・ 甲状腺の遺伝性疾患の診断を早めるため、遺伝子検査室を新設します。
- ・ 医療相談室を利用して頂きやすいように1階総合受付横へ移動します。
- ・ 入院予約受付のスペースを拡張し、地下1階に移動します。
- ・ アメニティ向上のため、2階女性用トイレの拡張、および地下1階男性用・女性用トイレを増設します。
- ・ 待ち時間のご負担軽減のため、1階、2階の待合スペースを拡張し、デザインをリニューアルします。
- ・ 売店スペースを拡張します。

渋谷・表参道Women's Run

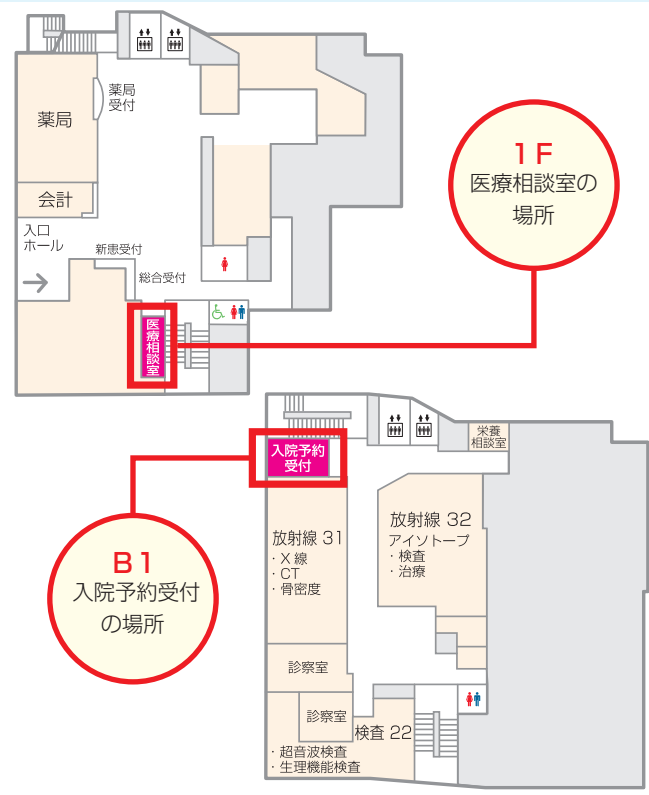
3月2日に女性だけのマラソン大会である「渋谷・表参道Women's Run 2014」が開催されました。

その名の通り、渋谷・表参道周辺10kmのコースで、普段はランニング禁止の明治神宮境内や、交通規制された表参道を走ることができるということもあり、美ジョガー達の人気が非常に高い大会です。一方で、アップダウンの多いタフなコースでもありますが、初参加5名を含む当院参加者8名は無事完走。充実感と達成感を楽しみました。

工事期間 平成26年5月16日～8月31日(予定)

■工事進捗のお知らせ

- 6月 医療相談室 B1→1F受付窓口横に移動
- 入院予約受付 3F→B1に移動(旧医療相談室の場所)



学会活動

学会シーズンである春と秋は、多数の学会が開催されます。

北川診療技術部部長は、第30回神奈川乳甲状腺外科研究会(横浜・3/8)において、特別講演「当院での小児甲状腺超音波検査による腫瘍病変について—福島県県民健康管理調査の判定区分をもとにした検討—」を講演しました。



北川診療技術部部長

小児の甲状腺に見られる嚢胞や結節は年を追って大きくなる場合、逆に小さくなったり消えてしまうこともあります。そのため、超音波検査による経過観察が重要であることをお伝えしました。

向笠医長は、第27回甲状腺眼症研究会(東京・3/15)において「甲状腺眼症とTSH受容体抗体—血液検査で眼症を診療することは可能か—」を発表しました。この学会は甲状腺眼症の治療で連携しているオリンピア眼科病院が主催しております。その名の通り甲状腺眼症の治療に関わっている眼科医が多数集まる中で、向笠医長が当院での研究成果の報告を行いました。

杉野副院長は、第114回日本外科学会定期学術集会(京都・4/3～5)において、パネルディスカッション「小児および若年者甲状腺乳頭癌の臨床的特徴および治療成績の検討」を講演しました。20歳未満の小児・若年層の甲状腺がんはまれで、学会等でも多数例を取り上げた報告がありません。その中で当院での診療経験について報告しました。



杉野副院長

第9回大江戸内分泌手術手技懇話会(東京・4/19)では、北川診療技術部部長が「新しいエネルギーデバイスの活用法・頸部リンパ節郭清に関して～従来法との比較～」、正木医師が「甲状腺全摘術における合併症 副甲状腺機能低下症の発症率の低下を目指して～当院手術の経年的成績～」を発表しました。また、杉野副院長は若手医師との交流の場となる「ミートザプロフェッサー」という企画で、基調講演として「副甲状腺の手術手技・確実性と機能低下の防止」を講演しました。

伊藤院長が委員長を務めている全国病院経営管理学会の平成25年度臨床検査業務委員会(東京・2/22)では、宮崎臨床検査室長が「ISO15189認定を活用した付加価値の創造」を発表しました。

ピックアップ 日本内分泌学会学術総会

4月24日から26日の3日間にわたり、福岡県で第87回日本内分泌学会学術総会が開催されました。

この学術集会は、甲状腺・副甲状腺を含め、下垂体や副腎、膵臓などホルモンを分泌する内分泌臓器の病気や、糖尿病などの生活習慣病の治療に携わっている医療関係者が集まり、年1回開催されています。

会場では、最新の研究成果の発表とともに活発な議論が行われ、当院からも下記の医師が発表を行ったほか、吉村内科部長が特別講演と一般演題の座長を務めました。

当院では、今後も積極的に学会・講演会に参加し、情報発信するとともに最新の知見に触れて研鑽を積み、日々の診療に役立てるよう、取り組んでまいります。

北川巨 診療技術部部長	甲状腺乳頭癌頸部リンパ節転移例の穿刺液中サイログロブリン値について～cutoff値の検討～
向笠浩司 内科医長	『バセドウ病悪性眼球突出症の診断基準と治療指針(第一次案)』の「眼症の重症度分類」を用いた眼症評価法とClinical activity score (CAS)について(第2報)
大江秀美医師	軽度な表現型を呈したThyroid peroxidase(TPO)遺伝子異常の一例
亀田俊明医師	抗甲状腺薬投与開始後2週間毎の肝機能検査は重症黄疸を予防できるか
鈴木菜美医師	Euthyroid Graves' Diseaseの長期予後について
鈴木美穂医師	無痛性甲状腺炎を合併しTRAb・TSbAbの経過を観察しえた橋本病の1症例
松本雅子医師	バセドウ病患者における抗甲状腺薬(ATD)中止後の、ATD加療期間別の再発率の検討
吉原愛医師	妊娠一過性甲状腺機能亢進症におけるhCG濃度と甲状腺中毒症の程度との関係について
渡邊奈津子医師	重度バセドウ病に対するMMI30mg単独療法とMMI15mgとヨウ素38mg併用療法の初期治療効果、有害事象および寛解率の比較



北川巨診療技術部部長



向笠浩司内科医長



大江秀美医師



亀田俊明医師



鈴木菜美医師



鈴木美穂医師



松本雅子医師



吉原愛医師



渡邊奈津子医師

ピックアップ 甲状腺病態生理研究会

伊藤病院 内科 吉原愛

2月1日に東京にて第30回甲状腺病態生理研究会が開催され、甲状腺疾患における臨床研究、基礎研究において幅広い観点から17演題の発表がありました。発表は若手医師が中心ですが、発表後は示唆に富む活発な討論がなされます。

当院からは、亀田医師が「抗甲状腺薬による高ビリルビン血症の頻度と予後」、鈴木菜美医師が「Euthyroid Graves' Diseaseの長期予後についての検討」、私が「妊娠一過性甲状腺機能亢進症におけるHCG濃度と甲状腺機能との関連、バセドウ病との鑑別についての検討」について発表いたしました。この発表で研究奨励賞をいただきました。

今後とも日々の診療において、最新の知見を通してより良い医療を提供できるように努力してまいります。



講演活動

当院では、より多くの方々に甲状腺疾患についての理解を深めていただくため、各地の講演活動に積極的に参加しています。

伊藤公一院長は、第4回耳鼻いんこう科・甲状腺外科談話会(札幌・2/6)で、講演しました。地域の耳鼻咽喉科や甲状腺診療に携わる医師の症例報告に続き、伊藤公一院長が「甲状腺疾患の最新の話～バセドウ病、橋本病、甲状腺がん～」をテーマに特別講演を行いました。

吉村弘内科部長は、沖縄代謝内分泌セミナー(2/12)で「バセドウ病薬物療法」をテーマに講演しました。バセドウ病の治療に用いられる抗甲状腺薬は、世界的に見てもMMI(メルカゾール)とPTU(チウラジール/プロパジール)、ヨウ素の3つしかなく、副作用が起きてしまった場合の対処や、病状に応じた薬の分量・選択が重要であることをお話ししました。

また、伊藤公一院長は、富士通健康推進本部特別講演(川崎・2/17)、帝人ファーマ(株)東京支店社内講演(4/17)に、吉村弘内科部長は鹿児島市内科医会講演会(3/12)にも招かれ、「橋本病と妊娠」など2つの講演を行いました。

これらの講演が、甲状腺疾患についての知識を高めていただける良い機会になりましたら幸いです。

ご存じですか？診療報酬

伊藤病院 医事室主任 佐々木太郎

17年ぶりの消費税率引き上げは、今春大きな関心を集めました。増税前に日用品の買いだめや、白モノ家電の買い替えをされた方もいらっしゃるかと思います。意外なところでは化粧品でしょうか。高価格帯の化粧品に駆け込み需要が多かったそうです。世の女性にとって、もはや化粧品は重要な「日用品」なんです。

さて、4月に入ってからの病院のお会計額が、以前と少し変わっていることにお気づきでしょうか？

実は、消費税増税と時を同じくして、国による「診療報酬改定」が行われました。最近では高齢化社会との兼ね合いから、医療費のことが話題に上るようになってきたため、ピンとくる方も多いと思いますが、中には増税の影響かと思われた方もいらっしゃるかもしれません。実際はと申しますと――。

日本では、「国民皆保険制度」を採っています。その中で行われる医療は、「保険診療」として法令でルールや価格が定められています。健康保険証を持参した場合に行われる診療とお考えください。ここで取り決められているルール・価格を「診療報酬」といい、2年に一度の間隔で改定する「診療報酬改定」が行われます。

保険診療の費用については、この全国共通の診療報酬に則って計算されるので、病院が独自に価格を決めることはできません。(ただし、個室ベッド代や保険会社診断書作成料は、保険外項目に定められており、この限りではありません)

一方、同じ検査・診察であっても、受診のタイミングや医療機関によって価格が異なる場合があります。これは、同じ検査でも、病院の規模や診療体制であったり、一定期間中に複数回の検査・お薬の処方をした場合には価格が変わるなど、非常に細かくルールが決められているためです。

冒頭の消費税の話ですが、保険診療は消費税の非課税対象です。「増税のために、お会計が変わった」わけではないのです。ただし、多くの項目が減額になる中、再診料が690円→720円になるなど、一部の項目については、消費税対応分として増額になっています。

次回の診療報酬改定は平成28年4月になりますが、その前年には2回目の消費税率引き上げが予定されています。その際にどのような対応になるのか、今から注目しております。



国立競技場の聖火台

昭和39年(1964) 10月10日、東京オリンピックのメイン会場である国立競技場では、94カ国5,000名以上が見守る中、聖火台への点火が行われ、東京オリンピック開会式で最大のクライマックスを迎えました。

この聖火台は、東京オリンピックに先立つ1958年のアジア競技大会で最初に使用され、東京オリンピックの後も50年にわたって、バックスタンド中央の最上部から幾多の名勝負を見守ってきました。国立競技場は、今年の7月から解体工事が始まりますが、この聖火台は五輪遺産として保存されることが決定されています。

聖火台は、当時鑄物の街として知られ金属を溶かす溶鉱炉(キューボラ)が多数あった埼玉県川口市で作成されました。

彫刻家である高村光雲のもとで、上野の西郷隆盛像の制作にも関わったこともある鑄物師の鈴木萬之助さんと文吾さん親子が、昭和33年(1958)制作を引き受けることになりました。

高さ直径ともに約2.1メートル、重量は2.6トンという規模は、当時の鑄物工場で用いられていた鑄型の3倍もあり、国内で前例のない聖火台の制作でしたが萬之助さんは「人生最後の仕事」という覚悟で引き受けたといわれています。

作業は昼夜を問わず行われ2か月後には鑄型を作りあげることができ、鑄鉄を流し込む「湯入れ」が行われました。湯入れは1400度の鑄鉄を鑄型に流し込む作業ですが、均等に注がなければ良質な鑄物は出来なく高い技術と経験を要する作業となります。

しかし湯入れの最中に鑄型が爆発してしまう事故が起きました。幸いけが人はでませんでした。萬之助さんは失敗のショックと過労から床にふせてしまい、事故から8日後萬之助さんは亡くなりました。大役を引き継いだのは息子の文吾さんでしたが、気を落として納期に間に合わなくなる事を心配し、文吾さんには萬之助さんの亡くなった事は伝えられませんでした。



作業を一からやり直した文吾さんは、3週間で聖火台を完成させました。

平成20年に文吾さんが86歳で亡くなるまで、毎年聖火の灯された10月10日前後に国立競技場を訪れ聖火台を磨いていたそうです。現在では命がけで作業に挑んだ職人と家族の知られざる物語の逸話に感銘を受けた室伏広治選手(陸上男子ハンマー投げ金メダリスト)が鈴木さんの遺族らと共に2009年から毎年聖火台を磨いています。また、川口市の中学校には文吾さんがPTAのリクエストに答え、作成した半分の大きさの聖火台が設置されており、生徒達の手によって磨かれているそうです。

国立競技場解体後の聖火台の行方はまだ決まっていないようですが、国立競技場が出来た時には新旧の聖火台を見ることができでしょう。

NHK「おはよう日本 首都圏」で2013年5月に聖火台についての放送があり、下記のページでご覧いただけます。

聖火台制作風景なども取り上げられておりますので、ご紹介します。

NHK ONLINE@首都圏

「東京五輪 聖火台 職人の心意気を未来へ」

<http://www.nhk.or.jp/shutoken/ohayo/report/20130524.html>

表参道寄り道スポット

ミッレフィオーリ 表参道ヒルズ店

ふと癒やしの香りを嗅いでリラックスしたり、思わず足を止めて漂ってくる香りを深呼吸で味わったことはありませんか？今回、ライフスタイルを楽しむための様々なフレグランス商品を生み出している、1994年イタリア・ミラノ創設の「ミッレフィオーリ 表参道ヒルズ店」を紹介させていただきます。



ヨーロッパで高い人気を博し、今では各国で展開を広げ、世界中の方々に上質な香りを提供しています。日本では現在、20店舗を展開中。その中でも旗艦店の表参道ヒルズ店は、ミッレフィオーリの豊富な香りと商品を、最も取り揃えています。

香りには集中力を高める、印象を強める、懐かしさや過ぎ去った思いをよみがえらせる、などの効果があるそうです。

シチリアの太陽の光をたっぷり浴びた柑橘系の爽やかな香りのグレープフルーツやエレガントでたおやかな女性を彷彿させるフェミニンでフローラルなローズブーケなど約30種類にも及び香りがあります。

ミッレフィオーリ表参道店で人気絶好調のアロマリキッドの入った瓶に木製スティックを差し込むと、ほのかな香りがスティックにじんんで優しく空間に広がる「フレグランスディフューザー」、その他にも、カプセルを使用しTPOに合わせて香りを楽しむ画期的な電気式ディフューザー「ミッレ・イー」や、クローゼットや車の中に掛けて手軽に使える布サシェ、シンプルでベーシックなデザインのプロストガラスのディフューザーなどお客様の好みに応じた様々な商品を提供しています。

新生活を始めたばかりの友人や、お誕生日のプレゼント、そして感謝を込めて誠意を表す時、是非「ミッレフィオーリ 表参道ヒルズ店」に足を運んでみてはいかがでしょうか。



電動式アロマディフューザー ミッレ・イー



フレグランスディフューザー

お店の方から一言

フレグランス以外にも、ヨーロッパ各国の素敵な雑貨を揃えております。店内に漂う香りと共に、ゆっくりとショッピングをお楽しみください。

基本 DATA

店名 ミッレフィオーリ 表参道ヒルズ店
住所 渋谷区神宮前 4-12-10 B2F
TEL 03-6804-2993
営業時間 11:00 ~ 21:00
(日曜日と連休最終日は20:00までの営業)
定休日 年2回不定休(夏季・冬季)
アクセス 表参道駅 A2出口より徒歩2分



表参道ランチ&グルメ情報

でんのしおり

🍴 表参道駅徒歩2分、青山通りに付む「青山アンデルセン」横の細い路地に一歩足を踏み入れると「うどん」ののぼりが目に飛び込んできます。

「でんのしおり」は東京にいながら、関西の味に出会える和食のお店です。

店内へと続く階段を降り格子戸を開けると、そこは大人の空間。暖色の間接照明が落ち着いた雰囲気を感じ出し、テーブル席の他にカウンター席、座敷がありランチタイムは全席禁煙となりますのでお一人でもご家族でも安心してご利用いただけます。

ランチメニューのメインでもある関西うどんは温製と冷製が選べ、契約農家直送の京水菜や九条葱といった京野菜など、どれもこだわりの素材を使ったものばかり。運ばれた瞬間、ふわっとお出汁の良い香りが食欲をそそります。透き通ったスープを口にすると、薄口ながら上品で深い味に驚き！麺のコシの強さからも、うどんらしさをしっかり感じることができます。さらにお腹を満たしたい方には、トッピングメニューやバラエティー豊かなご飯物とのセットもあるので色々楽しめます。

うどんの他にも丼物もあり小うどんなどが付いてお得です。足を運



おすすめメニュー



せいろうどん680円税込

ぶ度々に色々な味を楽しめます。

シンプルながらも飽き来ず、また頂きたいと思えるのは、まさに素材の良さ・こだわりがあるからこそ。しっとりとした空間で和食を楽しみたい方は、是非足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

基本 DATA

店名 でんのしおり
住所 港区南青山 5-1-25 メゾンド・ラミア B1F
TEL 03-5774-0895
営業時間 【ランチ】
月～金：11:30～15:00 (LO14:30)
土・日・祝日：12:00～16:00 (LO15:30)
【ディナー】
月～土：17:00～24:00 (LO23:00)
日・祝日：17:00～23:00 (LO22:00)
定休日 年中無休
席数 48席
アクセス 表参道駅B3出口から徒歩2分

お店の方から一言

厳選素材と関西うどんをコンセプトにした和食店として表参道で15年間営業しております。ランチは、関西風のお出汁をベースにしたコシの強いうどんの数々と丼物が中心。ディナーは、日本各地から厳選された食材を中心に料理長こだわりの調理で提供しております。特に毎日、愛媛 八幡浜から直送で届く鮮魚の数々は一度、口にしたらやみつきになる事間違いなしです！

伊藤病院 内科 吉原愛

バセドウ病は20～30歳代の女性に比較的多い病気です。ご妊娠、ご出産については計画する段階でその都度きちんと主治医と相談することが大切です。

バセドウ病の患者様のご妊娠において最も大事なのは、甲状腺ホルモンがきちんと正常にコントロールされていることです。甲状腺ホルモンが高いまま、ご妊娠されますと、流産や早産のリスクが高くなります。

妊娠初期は胎盤で作られる絨毛性ゴナドトロピンの影響で甲状腺ホルモンが通常よりやや高めになり、妊娠中期、後期にバセドウ病は病勢が落ち着く傾向となります。逆に産後はバセドウ病の悪化をよく経験いたします。妊娠中、産後はホルモン変動が大きく、安定した状態を維持するため、服薬量を調整いたします。

患者様よりご質問がある内容をまとめました。ご参考になさってください。

Q1. 妊娠希望した場合、治療法はどうなるのでしょうか

→バセドウ病の治療は、一般に抗甲状腺薬(メルカゾール、チウラジールまたはプロパジール)、ヨウ化カリウム丸の内服が中心です。妊娠初期の期間中のメルカゾール内服で胎児に影響する可能性がわずかにあるとのことで、妊娠希望の際には妊娠初期の薬剤の選択を考慮する必要があります。また、病勢が強い場合には妊娠前の早めの段階で手術への治療変更をすることもあります。

Q2. 妊娠して、いつ受診したらいいのでしょうか

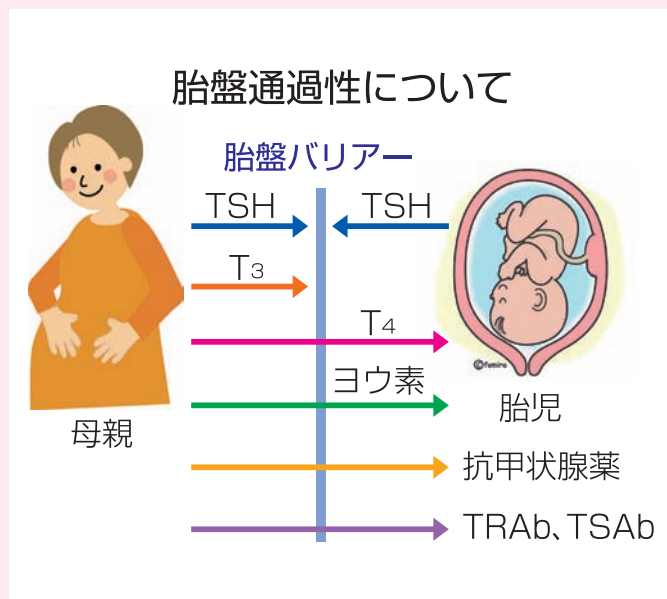
→産婦人科にて妊娠が判明したら、早めに受診してください。甲状腺ホルモンの値から服薬量を調整いたします。

Q3. 出産する病院は、大きな病院でないと難しいのでしょうか

→妊娠後期でバセドウ病がおちついてお薬もいらなくなり、甲状腺機能も正常である場合には通常の出産と同じ注意なので心配はありません。

バセドウ病特有の甲状腺を刺激する抗体 (TRAb, TSAb) は妊娠経過中に低くなっていくことが多いのですが、妊娠後期になっても高値の場合には胎盤を通して胎児の甲状腺を刺激する

可能性があります。この抗体は、出生後1ヶ月程度で赤ちゃんからは消えていきますが、その期間は新生児科や小児科で治療が必要な場合があります。このような場合は、新生児科併設の病院が望ましいといえます。妊娠経過によりますので、ご相談させていただきます。また、甲状腺刺激抗体(TRAb・TSAb)以外にも胎盤の通過性に関してわかりやすく図にまとめました。ご参考になさってください。



Q4. 産後はいつごろ受診するのでしょうか

→妊娠中のホルモンの状態にもよりますが、多くは産後2ヶ月でまず受診いただいて、バセドウ病の状態を検査しています。

Q5. 授乳はできますか

→チウラジール、プロパジールであれば6～8錠までなら授乳に制限はありません。メルカゾールは少量であれば問題ないですが、錠数によっては授乳間隔をあけていただくこともあります。その場合はミルクとの混合栄養となります。ヨウ化カリウム丸は、乳汁中にヨウ素が濃縮するため、原則、授乳はおすすめしていません。

伊藤病院 内科医長 向笠浩司

甲状腺疾患は診断や病気の活動性を見るために、様々な甲状腺自己抗体を測定することがあります。一般的には、ヒトの体に異物が入ると、その異物に対抗するために抗体がつくられますが、自己抗体とは、自分の細胞やその成分を異物と勘違いしてつくられてしまった抗体のことをいいます。

患者様よりデータに関するご質問も多いため、今回はその甲状腺自己抗体・サイログロブリンを取り上げ、検査の意味をご説明いたします。

1. TRAb (抗TSHレセプター抗体)

バセドウ病の診断をするマーカーです。当院では2 IU/L未満が正常値です。一般的に内服治療で低下していきますが、低下しない場合は内服を中止しにくい傾向があります。高いから重症というわけではなく、高くても低下していけば、薬の内服を中止できることもあります。いずれにせよTRAbのみでバセドウ病の治療方針を決めることはできないので、甲状腺の大きさや眼の症状などを合わせて、総合的に判断する必要があります。

またTRAbは胎盤を通りぬけ、赤ちゃんの甲状腺を刺激することもあるので、妊娠後半以降は10 IU/L以下にすることを目標にします。

2. TSAb (甲状腺刺激抗体)

TRAb同様にバセドウ病の診断マーカーですが、TRAbと同時に測定は原則的にできません。180%以下が正常値です。培養細胞を用いて、甲状腺への刺激の程度をみるマーカーです。近年はバセドウ病の診断用としては使用される機会は減少し、むしろ甲状腺眼症のマーカーとして使用されますが、高値であっても眼症のない方もいらっしゃるため、TSAbのみではなく、眼科的診察、MRI検査などを合わせて判断します。

3. TgAb (抗サイログロブリン抗体)

橋本病の診断マーカーですが、バセドウ病でも陽性になります。40 IU/mlより高値で陽性とします。値は上下することがありますが、病気の状態とどの程度関連しているのかはまだよくわかっていません。

4. TPOAb (抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体)

TgAb同様に橋本病の診断マーカーです。28 IU/mlより高値なら陽性とします。甲状腺の炎症で上昇するとされていますが、そのメカニズムや意義は未だに不明です。なおTgAbもしくはTPOAbのどちらかが陽性ならば、橋本病の可能性が高くなります。

5. HTg (サイログロブリン)

甲状腺内に存在する蛋白質です。甲状腺が炎症で壊れたり、甲状腺内に腫瘍・のう胞ができたり、甲状腺細胞の活性が高まったりすると上昇します。したがって上昇したからといって悪性のもとは限らず、甲状腺に何か病気がありそうという意味合いでとらえる方が良いと思われます。腺腫様甲状腺腫でサイログロブリンが上下することはよく見られますので、心配のないケースがほとんどです。

このマーカーが本当に効力を発揮するのは、甲状腺癌で全摘手術後の方です。サイログロブリンは原則的に甲状腺でしか作られないので、甲状腺がなければ本来上昇するはずのない蛋白ですので、この場合の上昇は癌の転移も疑って検査をすることがあります。

基準値について

検査項目	正式名	基準範囲(単位)
TRAb	抗TSHレセプター抗体	2.0未満(IU/L)
TSAb	甲状腺刺激抗体	180以下(%)
TgAb	抗サイログロブリン抗体	40以下(IU/ml)
TPOAb	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	28以下(IU/ml)
HTg	サイログロブリン	35以下(ng/ml)

※各検査項目の基準範囲は伊藤病院独自の設定もありますので、他施設とは多少異なる場合があります。

※当院の基準範囲は、ホームページでもご覧いただけます。

ホーム → 外来、検査、入院のご案内 → 検査のご案内 (血液検査) 「検査項目と基準範囲」

http://www.ito-hospital.jp/05_guide/03_1_popup.html

年を重ねるにつれ、また遺伝的素因や生活習慣に応じて血管は人それぞれ異なったスピードで老化し、動脈硬化が進みます。動脈硬化に影響するものは多く存在しますが中でも高血圧や高脂血症は罹患患者の数からも最も注意すべきものと言えるでしょう。今年に入り高血圧治療ガイドライン、2012年に動脈硬化性疾患予防ガイドラインの改定がなされ、血圧のコントロール目標、脂質のコントロール目標が従来の目標から部分的に変更されました。

■高血圧治療ガイドラインの変更点

高血圧治療ガイドライン2014におけるポイントは①高齢者の血圧目標の上方修正②正常高値血圧の除外③家庭血圧の重視④降圧薬第一選択からβブロッカーの除外といったことになると思います。高齢者では高血圧治療は画一的にはいかないため「75歳以上ではまず150/90未満を目標とします。しかし薬の副作用がなく他の病気との関係上差し支えがなければ積極的に140/90未満を目標とする」とされました。

また、糖尿病患者において欧米では収縮期血圧を140に緩和していますが日本では変わらず130/80未満が目標と設定されています。そして、今回の改定で「病院と自宅での血圧が異なる場合は家庭血圧を優先する」と明記されました。また血圧測定を朝夜行う事は今までと変わらず、双方2回ずつ測定する方法が推奨されています。βブロッカーは第一選択薬から外れましたが心不全、頻脈、狭心症、心筋梗塞後では第一選択薬として推奨するとされています。

■脂質異常症と冠動脈疾患のリスク

脂質異常症は2007年版のガイドラインの診断基準値から変更はありませんが、新たにLDL-Cが120～139mg/dLを「境界域高LDL-C血症」とし、これに該当する場合は生活習慣改善の必要性を伝えるとともに、他の危険因子を慎重に評価し治療の必要性を考慮します。

脂質異常症と診断した後、冠動脈疾患のリスクに応じ層別化しLDL-Cの管理目標を設定する方法は従来と同じですが、リスク評価の際に相対評価ではなく絶対評価を用いるようになりました。絶対リスクの評価には年齢、性別、LDL-C(またはTC)、血圧、喫煙の有無別に、向こう10年以内の冠動脈疾患死亡確率が0.5%未

●脂質異常症：スクリーニングのための診断基準(空腹時採血)

LDLコレステロール (LDL-C)	140mg/dL以上	高LDL コレステロール血症
	120～139mg/dL	境界域高LDL コレステロール血症
HDLコレステロール (HDL-C)	40mg/dL未満	低HDL コレステロール血症
トリグリセライド (TG)	150mg/dL以上	高トリグリセライド血症

満の場合はカテゴリーⅠ、0.5～2%未満はカテゴリーⅡ、2%以上はカテゴリーⅢと割り振ります。ただし、糖尿病、脳血管障害、末梢動脈疾患(PAD)、ステージⅢ以上の慢性腎臓病(CKD)のいずれかがある場合は、それだけで一次予防における最高リスクのカテゴリーⅢとなります。また、低HDL-C、早発性冠動脈疾患家族歴、耐糖能異常(糖尿病は含まない)を「追加リスク」とし、これらのいずれかが該当する場合は1段階厳しいカテゴリーになります。

●LDLコレステロールの管理目標値

①冠動脈疾患の既往がある→二次予防

②以下のいずれかがある→カテゴリーⅢ

糖尿病(耐糖能異常は含まない)、慢性腎臓病(CKD,ステージⅢ以上)、非心原性脳梗塞、末梢動脈疾患

③上記に当てはまらなければ以下を基準に層別化

	追加リスクの有無	
	NIPPON DATE80Iによる10年間の冠動脈疾患による死亡確率(絶対リスク)(ガイドラインでは図示)	追加リスクなし
0.5%未満	カテゴリーⅠ	カテゴリーⅡ
0.5～1.9%	カテゴリーⅡ	カテゴリーⅢ
2%以上	カテゴリーⅢ	カテゴリーⅢ

一次予防における各カテゴリーの管理目標値、および二次予防の管理目標値は従来と変化していません。二次予防について、LDL-Cをさらに強力に低下させることでプラークが退縮するといった日本人対象の報告も蓄積されつつありますが、100mg/dL未満という目標値そのものは据え置かれ、この目標値に達することが第一で、必要があればそれ以上厳格な治療を考慮してもよいとしています。またLDL-Cを管理の一次目標とするとともに、non HDL-C(=TC - HDL)が二次目標として定められました。とくに高TG(中性脂肪)、低HDL-Cを伴う場合にリスク予測力が高まることが期待でき、非空腹時採血でも使用可能という利点もあります。具体的な管理目標値は、LDL-Cの目標値に30を加えた値となり、糖尿病やメタボリックシンドロームでは高TGや低HDL-Cを伴いやすいため、新たな指標としてnon HDL-Cへの配慮が求められます。

● リスク区別別脂質管理目標値

治療方針の原則	管理区分	脂質管理目標値(mg/dL)			
		LDL-C	HDL-C	TG	Non HDL-C
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後、薬物療法の適用を考慮する	カテゴリーⅠ	<160	≥40	<150	<190
	カテゴリーⅡ	<140			<170
	カテゴリーⅢ	<120			<150
二次予防 生活習慣の是正とともに薬物療法を考慮する	冠動脈疾患の既往	<100			<130

なお、今回のガイドライン改訂では、LDL-C測定の間接法の信頼性が確立されていないことから、「LDL-Cは間接法：Friedwald式(LDL-C=TC-HDL-TG/5)で計算する」と明記されました。non HDL-Cは、TG400mg/dL以上でFriedwald式を適用できない場合にも使用できる点でも便利かもしれません。

その他、今回の改訂では、動脈硬化進展度の評価法としての頸動脈エコー検査の有用性、トランス型脂肪酸過剰摂取の注意などが追加されています。頸動脈エコー検査の更なる普及に伴い、甲状腺異常についてもより多くスクリーニングされていくことになるでしょう。

健康に関する記事 紫外線の功罪

久岡皮膚科クリニック 院長 久岡久江

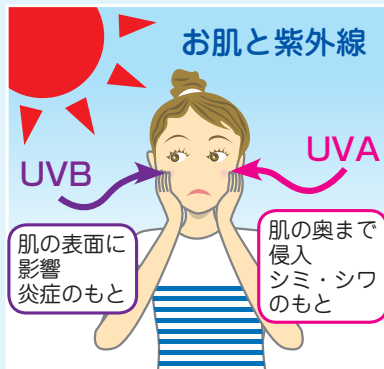
お日様と聞くと暖かい感じがしますが、日焼けと聞くとマイナスイメージがあります。最近はマスメディアの発達で、この時期になると日焼けや紫外線の情報があちこちで溢れています。暖かいイメージのお日様もマイナスイメージの日焼けもこの紫外線が主役です。紫外線にはA波長(UVA)、B波長(UVB)、C波長(UVC)があります。このうちC波長はオゾン層で吸収されて地上には届かないとされています。

従って、日常意識することなく浴びている紫外線はUVAとUVBです。紫外線の量は季節や時間によって異なります。UVAのピークは5月、UVBは夏至の頃です。一日の中では午前十時頃から午後二時頃までが多いとされています。

マイナスイメージの強い紫外線ではありますが、良いことは①殺菌、除菌効果があります。②UVBにあたることにより皮膚でビタミンD3が作られ、骨を作るカルシウムを体内に吸収する助けをしてくれます。③朝に日光を浴びるとメラトニンの分泌が止まり、14時間から16時間くらい経過すると体内時計からの指示で再び分泌が始まり、眠気を感じるようになります。良質な睡眠を得るためにも必要です。しかし皮膚にとって日焼けはやけどと同じダメージなのです。UVAは波長が長いので皮膚の下の方まで入り込んで、皮膚のメラニン色素を濃くしてシミが目立つようにし、しわやたるみなどの肌の老化を引き起こします。UVBは波長が短いのですが、浴びた直後から皮膚の表面(表皮)で炎症を起こします。まず日焼けをしてしまったら「冷やし」ましょう。そして十分な「水分補給」と水分が出ていかないように「保湿」しましょう。これが日焼けの手当の三原則です。火傷れなど重症の場合は皮膚科を受診しましょう。

紫外線を防ぐには、①日焼け止めをぬる。②紫外線の多い時間帯は外出を避ける。③日傘、帽子、長袖を日常生活に。

紫外線の良い面も悪い面もよく理解して上手に利用できたら健康生活が一步前進しますね。



伊藤病院 連携施設 大須診療所からのお知らせ

韓国から施設見学に来られました

1月30日、韓国から医師を含めた3人の見学者が伊藤病院での見学を経て、当診療所にも見学に訪れました。

今回、当診療所へ見学に来られた目的は、韓国ソウルで甲状腺専門クリニックを開業するにあたり、日本における甲状腺疾患専門の診療所がどのような

運営方針で、治療方針を立てているかを伺う為でした。見学中に3人ともとりわけ関心を持たれたのは、小規模な診療所でありながら甲状腺治療に対するアイソトープ設備及び独自の画像診断システムなどでした。見学中の質問のほとんどが韓国語で問われたため、伊藤病院の医療通訳、鄭君の電話での対応によりスムーズに回答でき、大変満足されました。

見学された医師らの話によると、韓国では医療を取り巻く諸事情の違いからほとんどの患者様は設備が整っている大病院へ赴く傾向が多いということでした。今回の見学を介し得られたものを、是非開業してから施設の運用に反映させて行きたいと語っていました。

今後、韓国で甲状腺を病む患者のために奮闘していく医師たちのご活躍に期待する当診療所の職員一同の思いを胸に抱いて帰国の途に就きました。

碧南市民病院で椿院長が講演しました

大須診療所 事務長 高田博史

1月23日、碧南市民病院の医師とその他医療職職員を対象とした講演会で、椿院長が“甲状腺疾患の鑑別”をテーマに講演しました。

碧南市民病院は、名古屋から車で1時間ほど南の知多半島にある320床の施設で、地域の基幹病院として、かかりつけ医とともに地域医療を担っています。そこで甲状腺疾患が見つかった患者様は、専門施設である当診療所にご紹介いただいております。

参加された50名の職員の皆様は甲状腺疾患についての関心も高く、約1時間の講演後には多くのご質問がありました。特に、病理診断や

大須診療所 事務長 高田博史



左から Son yun su, Son doomin M.D.
椿院長, Jung kooseung

エコー検査についてのご質問では、当診療所での実際の検査の流れを紹介しつつ、お答えしました。

今後も、甲状腺を病む方々のために他の医療機関とも連携を深めるべく情報発信し取り組んで参ります。



薬剤師のための甲状腺疾患服薬指導マニュアルを執筆しました

大須診療所 院長 椿秀三千

甲状腺疾患の薬は、バセドウ病などの機能亢進症の方に処方する抗甲状腺薬と、橋本病や手術で甲状腺を切除した方など、機能低下症に処方する甲状腺ホルモン薬の2つに大きく分けられますが、どちらも患者様一人ひとりのご症状に合わせた分量調整や副作用への配慮が重要です。

この度、甲状腺疾患の概要と処方する薬剤について、伊藤病院吉村内科部長と私が中心となってまとめた服薬指導マニュアルが、あすか製薬より発行されることとなりました。

私は良性・悪性の甲状腺腫瘍について担当し、これまで名古屋地区薬剤師会や名古屋市立大学薬学部での講演経験を活かして執筆、編集を行いました。

日々、患者様にお薬をお渡しする薬剤師の皆様へ、この書籍をお役立ていただけましたら幸いです。



伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://osu-shinryoujyo.jp/

ホームページ ビデオライブラリーのご紹介

当院では、バセドウ病のアイソトープ治療、およびアブレーションについて、わかりやすくご紹介する動画を作成しております。治療の流れや長所・短所、注意事項などをご説明しておりますので、ぜひご参考にご覧ください。

動画は、医療相談室とホームページでご覧いただけますが、医療相談室はスペースに限りがございますので、ホームページでご覧いただくことをおすすめします。



明治神宮参拝

明治神宮の表参道に立地する当院では、昭和34年以来、毎年明治神宮に患者様と職員の健康・安全を祈願することが大切な病院行事の1つになっております。今年も4月8日に職員全員で参拝してまいりました。

また、初詣の参拝者数日本一として知られておりますが、明治天皇と昭憲皇太后をお祀りする神社で、大正9年(1920年)11月に完成しました。元々は森のない荒地でしたが、神宮建設時に全国各地からの献木を植樹してつくられた人工林で、現在では都心の貴重な緑地となっています。昭憲皇太后が崩御されて100年となる今年は、様々な行事も行われており、多数の参拝者がいらっしました。



登山の楽しみ — 登山部のご紹介 —

伊藤病院 看護部 水澤かほり

2012年10月に念願の登山部を結成しました。

登山部発足のきっかけは、一緒に働くスタッフに登山好きや興味をもっている人が多かったことです。

そして数人で一緒に登山に行くようになり、せっかくならもっと仲間を増やしてみんなで楽しく登りたいと思うようになりました。

なんでわざわざ辛い思いまでして山に登るの？と聞かれることも多いですが、標高3000m近いところから見る景色は本当に最高です。



天気の良い時は、360° 様々な連峰を見渡すことが出来ます。

また夜になるときれいな星空を眺めながら、たくさんの流れ星を見ることも出来ます。そして山の頂上からサンセットやサンライズを見るのも楽しみの1つです。それ以外にも高山でしか見る事の出来ない植物や山でしか会えない動物がいます。これらを楽しみにいつも登っています。そして、この感動を仲間たちで感じ合いたいと思い、登山部を結成するに至りました。

ただし、登山は常に危険と隣合せであることも忘れてはならないと思っています。1つの気の緩みが大きな怪我などにつながることもあります。

登山は自己責任であり、自己の体力・技術を見極め、それにあった山に登るのが楽しい登山に大事なことだと思います。

山は登れる季節が限定されてしまうことから、山に行けない時期は駅伝を楽しんだり、トライアスロン部と一緒に自転車レースに出たりと体力作りも忘れていません。

メンバー全員で同じ日に同じ山に行くことはなかなか難しく、まだ日帰り登山しか一緒に行けていませんが、今年こそは多くのメンバーと山の頂上から最高の景色を眺めに行きたいと思っています。

このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやましたクリニックの情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック 理事長・院長 山下弘幸
やましたクリニックの山下です。

今回は少子高齢化と甲状腺疾患とのかかわりについて、私見を述べさせていただきます。高齢になれば病気が増えてくるのは当然で、そのために医療費は増大します。医療費は個人負担だけでなく社会保障費から賄われていますので、少子化で納税する人口が少なくなれば簡単に社会保障費を増やすことはできません。そこで、医療費の増大を抑えつつ適切な医療を効率よく提供できる制度が必要になります。

外科治療については、我が国においても治療施設の集約化がすすんでいます。これは厚労省の方針でもありますが、インターネットの普及により患者さんが手軽に医療情報を得られるようになったことも影響しています。多くの施設で少ない患者さんを手術するより、少ない施設で多くの手術を行うのが理に適っており、手術症例数の多い施設では術後合併症が少なくなり、医療費が安くなるというデータが報告されています。

甲状腺手術に関しては、他の一般外科手術にさきがけて集約化されてきた歴史があります。我が国においては甲状腺専門病院が3施設あり(東より、伊藤病院、隈病院、野口病院)、それらの施設で手術が必要なたくさんの患者さんを受け持っています。それぞれが70年以上の歴史を有する施設なので、インターネットのない時代より口コミで患者さんが集まっていたと思います。目の前の患者さんを適切に治療することにより、伝統が築きあげられたのではないかと考えています。

内科的治療に関しても同様なことが言えます。同じ疾患の患者さんが多いとそれに合わせた診療機器をそろえることができ、迅速な診断と適切な治療により通院回数も少なくなります。

当クリニックも年間800例を超える手術を受け持つようになりましたので、甲状腺・副甲状腺疾患の専門施設としてさらに充実

させていこうと考えています。
よろしくお願いたします。



医療法人 福甲会
やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-8
<http://www.kojosen.com/index.html>
TEL : 092-281-1300 FAX : 092-281-1301

表紙no写真

「根津美術館」のかきつばた

緑豊かな初夏の季節になりました。何気なく散歩をしていると、春に負けない位のたくさんの花々を見かけます。表紙の写真は、伊藤病院から徒歩10分の「根津美術館」のかきつばたです。こちらの美術館は入館料が必要ですが、都心の真ん中に位置しながらも、静寂な空気を感じることが出来ます。美術館のエントランスにつながる竹の回廊は、表参道の喧騒からの心の切り替えにぴったりの空間です。表参道・原宿の賑わいも魅力ですが、根津美術館の四季折々の庭園を目当てに訪れるのもお勧めです。



(二階堂)

編集後記

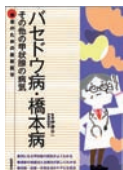
ますます暖かくなり、表参道の街路樹も緑がとても綺麗な季節になってきました。

診察室の窓からは、色んな表情の緑が観賞でき、つかの間ですが穏やかさ、静けさを感じ、心を癒してくれる時間を与えてくれます。自然のパワーはとても偉大で神秘的です。

青山はわたしも大好きな街です。いつ歩いても新しい発見があり、好奇心を刺激してくれる素敵な場所がたくさんあります。このVOICEの中にも皆さんの発見につながる何かをみつけてもらえたらうれしく思います。(藤本)

甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



新刊

患者のための最新医学 バセドウ病・橋本病・ その他の甲状腺の病気

監修：伊藤公一
定価：1,300円(税込)
発行：高橋書店



「よくわかる 甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,400円(税込)
発行：主婦と生活社



「甲状腺の病気」

速やかな回復のための最新知識
監修：伊藤公一
定価：1,400円(税込)
発行：法研



「甲状腺の 病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,300円(税込)
発行：講談社



「甲状腺の病気の最新治療 バセドウ病・橋本病・ 甲状腺腫瘍ほか」

監修：伊藤公一
定価：1,510円(税込)
発行：主婦の友社



「図解 甲状腺の病気が よくわかる 最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,510円(税込)
発行：日東書院

発行 2014年6月1日発行 第46号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6

TEL : 03-3402-7411

FAX : 03-3402-7415

URL : <http://ito-hospital.jp>